NIPRO

自己検査用グルコース測定器

ニプロTRUEpico®
トゥルーピコ

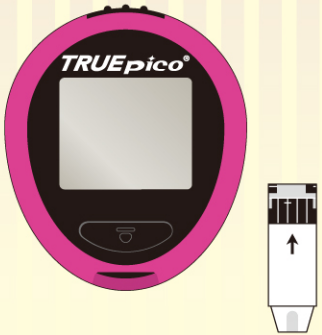
取扱説明書

製品に関するお問い合わせ先

やさしい ニプロ
0120-834-226

9:00～17:30（土・日・祝祭日をのぞく）

電話番号をよくお確かめの上、おかけ頂きますようお願い致します。



NIPRO

製造販売　ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

もくじ

もくじ …… 1、2

はじめに …… 3、4

使用上の注意 …… 5〜10
- 健康に関する重要情報 …… 10

ニプロTRUEpico®と
ニプロTRUEセンサー® …… 11〜20
- 測定前の準備 …… 11、12
- ニプロTRUEpico® …… 13、14
- ニプロTRUEセンサー® …… 15〜18
- ニプロTRUEpico®をニプロTRUEセンサー®容器に取り付ける/外す …… 19、20

血糖測定 …… 21〜28
- 血糖測定の実施 …… 21〜24
- 代替部位測定の仕方 …… 25
- LoとHIの表示 …… 26〜28

測定結果の表示 …… 29、30
- 保存されている測定結果 …… 29、30

メンテナンス …… 31〜34
- 電池の交換 …… 31〜33
- メーターのお手入れ …… 34

トラブルの対処 …… 35〜38
- 表示メッセージ …… 37,38

システムの仕様 …… 39,40

ニプロGluコントロール液
（TRUEセンサー用）の測定 …… 41〜46
- ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用） …… 41,42
- 動作チェックの実施 …… 43〜46

保証 …… 47

ニプロTRUEpico®
血糖測定システムへようこそ

はじめに

このたびは、ニプロＴＲＵＥｐｉｃｏ®をご使用いただき、まことにありがとうございます。

ニプロＴＲＵＥｐｉｃｏ®は、糖尿病の方や、医療関係者にわかりやすく扱いやすい血糖測定器として設計、製造されております。

この取扱説明書には、血糖測定をするための正しい操作方法や大切な情報が記載されています。お使いになる際は、必ず本書をよくお読みになり、正しく理解したうえでご使用ください。

あわせて、血糖測定の際に必要となります「ニプロＴＲＵＥセンサー®」「ニプロＬＳランセット」の添付文書、取扱説明書もお読みになり、それらの注意事項をお守りください。

警告 本システムを使用する前に冊子及び、すべての製品に関する指示をすべてお読みください。

使用上の注意

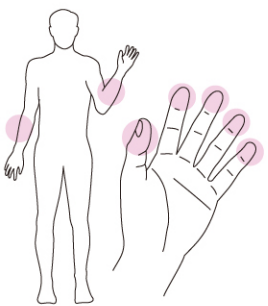
ニプロTRUEpico®の使用方法

ご使用前にニプロTRUEpico®（測定器）の添付文書および取扱説明書をよくお読みください。

- 測定器は自己検査用グルコース測定器です。
- 測定器は、指先または前腕から採取した血液を用いて血糖を測定するために使用します。

採血可能箇所

・指先または前腕が採血可能な箇所です。



注意

・ほくろ
・静脈
・背
・腱　には穿刺しないでください。

ニプロTRUEpico®の用途

- 血糖値の測定
- 新鮮な毛細管全血を用いた測定

ニプロTRUEpico®は以下の用途で使用しないでください。

- 糖尿病の診断またはスクリーニング
- 新生児の検査
- 動脈血の測定

表記記号の意味

以下の記号が表記されている項目は、重要項目ですので必ずお守りください。

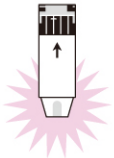
危険　誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定されることを示しています。

警告　誤った扱いをすると、重度または軽度のけがや、物的損傷を負う危険が想定されることを示しています。

注意　誤った扱いをすると、物的損傷や血糖測定の不具合を負う危険が想定されることを示しています。

使用上の注意

危険 血糖測定後のセンサーは、医療機関等の指示に従って処理してください。



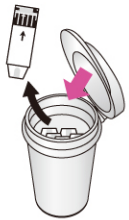
危険 血糖測定に使用する全ての製品は、小児の手の届かない所に保管してください。

危険 体調の不良を感じている場合は、操作を誤る可能性がありますので、注意してください。

警告 血糖測定に使用する全ての製品は、濡れた手や汗ばんだ手での取り扱い操作はしないでください。

注意 センサー挿入部、血液吸入部にはなるべく触れないでください。測定結果に異常が生ずるおそれがあります。

注意 容器から、使用するセンサーを取り出したら、蓋をしっかりと閉めてください。蓋を開けたままにしますとセンサーが湿気を吸い、正しい測定ができなくなります。



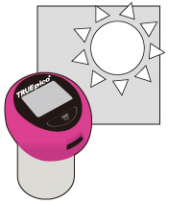
注意 センサー挿入部には、ほこり、血液、水分などが入らないようにしてください。測定器に付いた汚れなどは、中性洗剤や70%アルコールで濡らした布をかたくしぼって拭き取ってください。

注意 水気のある場所では使用しないでください。水に濡れ、内部に水分が入ると測定器の故障の原因となります。

使用上の注意

注意

直射日光の当たる屋外、窓際に置かないでください。測定結果に異常が生じたり、測定器が変形するおそれがあります。



注意

測定器は温度変化の激しい所での使用は避けてください。適正な測定結果が得られない場合があります。
メーター作動温度範囲（10-40℃）に十分なじませてからご使用ください。
また血糖測定の際や、保管する場合は高温・多湿の場所を避けてください。

健康に関する重要情報

- 低値または高値の血糖測定結果は、深刻な症状を示している可能性があります。
  60mg/dL未満の場合、または、240mg/dLを超える場合、自覚症状がない場合でも再測定を行ってください。
  再測定でも再現された場合には、医師の指示に従ってください。

- 重度の脱水は、実際の血糖値よりも低い値が示されることがあります。
  重度の脱水症状にかかっていると思われる場合には、直ちに医師に相談してください。

- 本書に記載されている指示に従っている場合で測定結果が自覚症状と一致しないときには、医師に連絡してください。

ニプロTRUEpico®と ニプロTRUEセンサー®

測定前の準備

構成

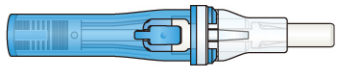
●ニプロTRUEpico®
（測定器）

●リチウム電池 CR2032×1個
（セット済）

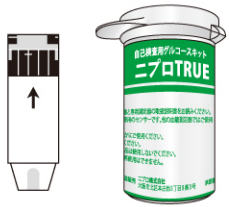
●取扱説明書

測定に必要なもの（別売）

●ニプロＬＳランセット（穿刺器具）



●ニプロTRUEセンサー®



ニプロTRUEpico®と ニプロTRUEセンサー®

ニプロTRUEpico®
各部の名称および特徴

メーターの表面

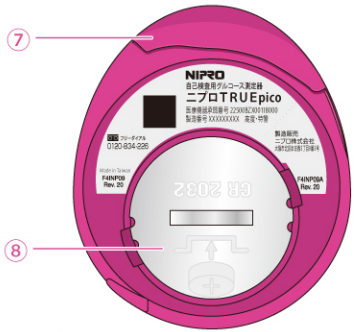
①操作ボタン
保存されている測定結果を表示します。
測定時に代替部位測定としてマークを付けます。

②表示画面
測定結果、記号、メッセージ等を表示します。

③採血マーク
血液またはコントロール液を吸入できる状態を表示します。

④測定単位
測定単位を表示します。

メーターの背面



⑤センサー排出ボタン
センサーを抜き取る時に使用します。

⑥センサー挿入部
未使用のニプロTRUEセンサー®の電極部をここに差し込みます。

⑦容器取り付け溝
センサーの容器とメーターを取り付ける時に、この溝にセンサーの容器の縁をはめ込みます。

⑧電池カバー
充電不可能の 3V リチウム電池1ヶを使用し (CR2032)、電池のプラス (+) 面を上にしてください。(電池の交換を参照)

ニプロTRUEpico®と ニプロTRUEセンサー®

ニプロTRUEセンサー®（別売）

測定ごとにセンサーの血液吸入部にのみ血液または ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）を 吸入させます。

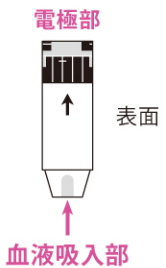
1）電極部

電極部を上にしてセンサー挿入部に挿入します。

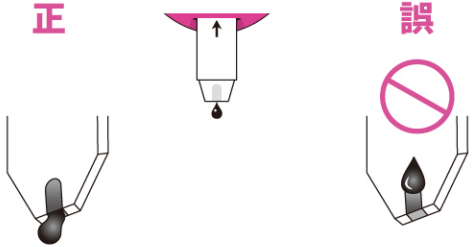
2）血液吸入部

センサーの印刷面を上にして差し込みます（下図参照）。 血液吸入部にのみ血液またはコントロール液を吸入させます。

ニプロTRUEセンサー®の上部



血液の吸入方法について



警告 センサー容器には、吸いこんだり、飲みこんだりすると有害で、目や皮膚に刺激を与える可能性のある乾燥剤が含まれています。

注意 ニプロTRUEpico®は、ニプロTRUEセンサー®とともに使用してください。本測定器で専用のセンサー以外のものを使用すると、正しい結果が得られない場合があります。

ニプロTRUEpico®と ニプロTRUEセンサー®

センサーに関する取扱い上の注意

- センサーは2～30 ℃の乾燥した場所に蓋をしっかり閉めて保管してください。
- センサーはメーターの使用環境（10～40 ℃）でのみ使用してください。
- センサーは直射日光および熱を避けて保管してください。
- センサーを他の容器に移し替えたりしないでください。
- センサーは容器から取り出した状態で保管しないでください。
- 容器からセンサーを取り出した後は、直ちに容器の蓋をしっかり閉めてください。
- センサーを容器から取り出したり、メーターの中に差し込むときは、清潔な乾いた手で、センサーのどこの部分であっても丁寧に取り扱ってください。
- 使用期限を過ぎたセンサーは使用しないでください。正しい結果が得られない場合があります。
- センサーを曲げたり、切ったり、改造したりしないでください。
- センサーを無理にメーターに挿入しないでください。
- センサーには新鮮な毛細管全血のみを適用してください。

詳細については、ニプロＴＲＵＥセンサー®の添付文書をよくお読みください。

警告 指先からの採血とそれ以外の部位からの採血を行った場合、測定値に違いが認められる場合があります。特に食後、インスリン注射後、運動後といった急激に血糖値が変動する場合に測定値の違いが認められます。測定に際しては、採血部位をよくマッサージしてください。なお、低血糖症状が現れる方、もしくは低血糖が疑われる方は指先からの採血を推奨します。

注意 血液吸入部に2分以内に血液が吸入されなければ、E-2が表示され、約10秒後にメーターの電源は自動的に切れます。電源が切れたら、センサー挿入部からセンサーを取り出してください。センサーを再挿入してメーターを再起動してください。

注意 使用済みのセンサーとランセットは穿刺針用の容器で医療機関等に相談して処理してください。

ニプロTRUEpico®と ニプロTRUEセンサー®

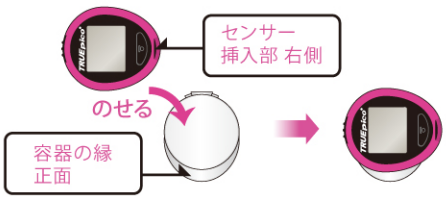
ニプロTRUEpico®をニプロTRUEセンサー® 容器に取り付ける/外す。

ニプロTRUEpico®はニプロTRUEセンサー®容器の蓋の上部に取り付けるように出来ています。

取り付ける：

1. 容器の縁を正面に向けて、平らな場所に置いてください。
2. メーターのセンサー挿入部を右に向けて、図のようにメーター背面を容器の蓋の上に確実にのせてください。

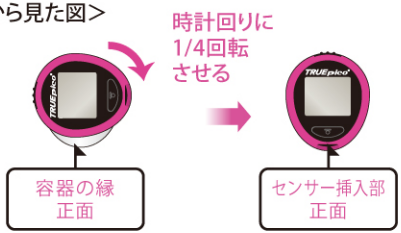
＜真上から見た図＞



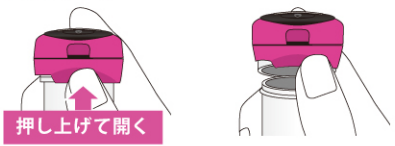
3. 容器を持って、メーターを時計回りに1/4回転させてください。
メーター背面の容器取り付け溝に容器の縁をはめ込みます。

適切に取り付けた場合、メーターのセンサー挿入部分が正面に向きます。

＜真上から見た図＞

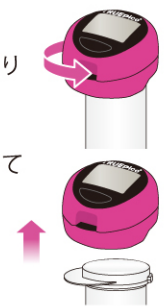


4. メーターのセンサー挿入部を下から押し上げて、容器を開いてください。



取り外す：

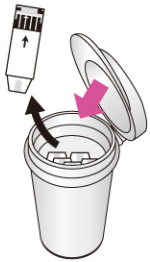
1. 容器を持って、メーターを反時計回りに1/4回転させてください。
2. 容器表面からメーターを持ち上げてください。



血糖測定の実施

ニプロTRUEセンサー®の開封

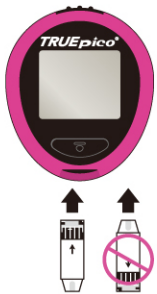
1. ニプロTRUEセンサー®の箱を開封し、容器を取り出します。
容器の蓋を外し、センサーを1枚取り出してください。



注意 センサーは湿気厳禁です。
蓋は必ずしっかりと閉めてください。

メーターを準備する

2. ニプロTRUEpico®に未使用のセンサーを挿入します。
これでメーターの電源が入ります。挿入方向を確認してからしっかりと挿入します。



表向きに入れる

システムチェック画面

メーターに電源が入るたびにこの画面が数秒間表示され、表示が正しく機能していることを確認することができます。

システムチェック画面

注意 システムチェック画面が前ページの画面表示と一致しない場合には、測定器を使用しないでください。

3. 画面に採血マーク（●）が表示されたらメーターが血液を吸入できる状態になります。

採血マーク

注意 血液吸入部に2分以内に血液が吸入されなければ、E-2が表示され、約10秒後にメーターの電源は自動的に切れます。電源が切れたら、センサー挿入部からセンサーを取り出してください。センサーを再挿入してメーターを再起動してください。

血液を採取する

4. 採血部位を選択します。指先での測定とその他の部位での測定には、血糖値に違いが生じます。血液を採取するには穿刺器具を使用してください。ニプロLSランセット（穿刺器具）の使用方法の詳細については、穿刺器具の添付文書をお読みください。

あざができる可能性

採血部位にあざができることがあります。あざができた場合には別の採血部位を穿刺してください。

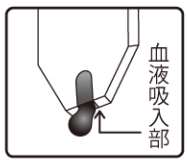
注意 指先から採血する場合は、穿刺前に必ず流水でよく手を洗ってください。

血糖測定

5. 図のようにセンサー先端の吸入部に血液を（必要血液量0.5μL）吸入させます。

注意 **測定ごとにセンサーの血液吸入部にのみ血液を吸入させます。センサーの使用は1回に限り、使用済みのセンサーは廃棄してください。**

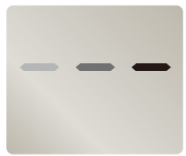
センサーは血液を血液吸入部から吸入します。



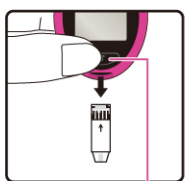
注意
- **測定部位にセンサーの血液吸入部を押し付けないでください。**
- **センサーに血液をこすりつけないでください。**
- **センサーの血液吸入部以外に血液を付けないでください。**
- **センサーがメーターに差し込まれていないときには、センサーに血液を付けないでください。**
- **センサー挿入部の中に血液または異物を入れないでください。**

結果表示

6. 十分な血液量が吸入されるとメーターの画面上に「－－－」が表示され、測定結果が出ます。測定値はメーター内に自動的に保存されます。



7. メーターに挿入されている使用済みセンサーはセンサー排出ボタンを押して挿入部から取り出します。
または手でセンサーを引き抜いて、挿入部から取り出します。



注意 **果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血した場合は偽高値を示すことがあります。**

注意 **末梢血流が減少しているような場合に指先から採血した場合は、偽低値を示すことがあります。**

注意 **センサー挿入部を下に向けながら、排出ボタンを押してください。**

---代替部位測定の仕方---

代替部位の結果として測定値を保存するためには、採血マーク（🩸）が表示中に、操作ボタンを押してください。結果は代替部位としてメモリーに保存されます。
（測定結果の表示については30ページをご覧ください。）

代替部位とは？
いつもと違う測定部位で測定した場合をいいます。

LoとHIの表示

ニプロＴＲＵＥｐｉｃｏ®およびニプロＴＲＵＥセンサー®の測定範囲は、20～600 mg/dL です。

症状がある場合のLoの表示

Loの表示

測定結果が20mg/dL 未満の場合は画面にLoと表示されます。

警告 **Loと表示され、脱力、発汗、神経過敏、頭痛、錯乱などの症状があるときは、かかりつけの医師に相談してください。**

症状がない場合のLoの表示

Loと表示されても低血糖の症状がないときは、新しいセンサーを使って指先で再度測定してください。それでもLoの表示が出る場合は、かかりつけの医師に相談してください。

症状がある場合のHIの表示

HIの表示

測定結果が600mg/dL を超える場合は画面にHIと表示されます。

警告 **HIと表示され、疲労、口渇、多尿、視界不良などの症状があるときは、かかりつけの医師に相談してください。**

症状がない場合のHIの表示

HIと表示されても高血糖の症状がないときは、新しいセンサーを使って指先で再度測定してください。それでもHIの表示が出る場合は、かかりつけの医師に相談してください。

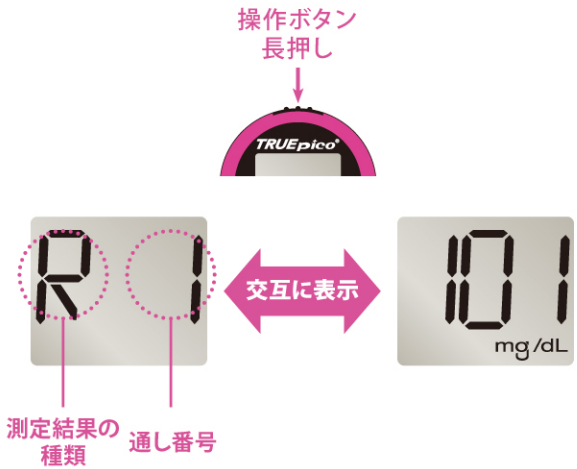
- 低値または高値の血糖測定結果は、深刻な症状を示している可能性があります。60mg/dL未満の場合、240mg/dLを超える場合は、自覚症状がない場合でも再測定を行ってください。再測定でも再現された場合には、かかりつけの医師に相談してください。
- 重度の脱水は、実際の血糖値よりも低い値が示されることがあります。重度の脱水症状にかかっていると思われる場合には、直ちにかかりつけの医師に相談してください。
- 本書に記載されている指示に従っている場合で測定結果が自覚症状と一致しないときには、直ちにかかりつけの医師に連絡してください。

測定結果の表示

保存されている測定結果

メモリーは、99件までの血糖測定とコントロール液の結果を保持します。メモリーがいっぱいになると、最も古い結果が最新の結果に更新されます。

1. センサーが挿入されていない状態で操作ボタンを長押ししてください。
   R1と最新の測定結果が交互に表示されます。



2. 操作ボタンを再度押して離すと新しい順で表示されます（最大99件まで）。

操作ボタンを押し続けると、結果を素早くスクロールさせることが出来ます。
操作ボタンを離すと、約20秒後に電源は切れます。

測定結果の表示について

R、A、Cを含めて99件まで通し番号がつきます。

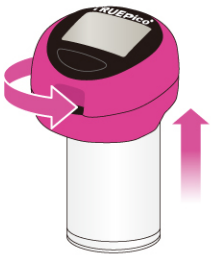
測定結果の種類

- **R … 通常の結果**
- **A … 代替部位の結果**
- **C … コントロール液の結果**

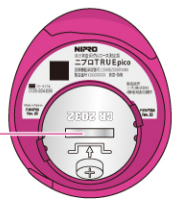
電池の交換

“Lb” または “db” が画面に表示されたら、電池を交換してください。

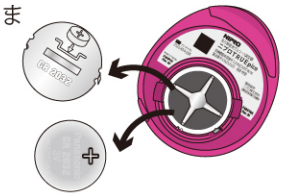
1. 容器からメーターを外してください。(「ニプロTRUEpico®をニプロTRUEセンサー®容器に取り付ける/外す」20ページを参照してください。)



2. メーターをひっくり返して、電池中央のスロットにコインを当てて、反時計方向に回して電池カバーをゆるめてください。

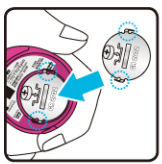


3. メーターをひっくり返すと、電池カバーと電池が外れます。



4. 新しい電池(CR2032)のプラス (+) 面を上にして、セットしてください。

5. 電池カバーを元に戻します。電池カバーの両側のツメをメーターの溝にはめ込みます。



6. コインで時計回りに回して閉めてください。

7. 操作ボタンを押してメーターを作動させてください。もし、メーターが作動しなければ、(+) 面を上にして電池が正しく入っているかをチェックしてください。正しく入っていなければ、電池を取り出して、再度入れ直してください。問題が続くようであれば、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

8. 容器にメーターを再度取り付けてください。(「ニプロTRUEpico®をニプロTRUEセンサー®容器に取り付ける/外す」19ページを参照してください。)

電池は取り扱いを誤れば、または正しく交換しなければ破裂する場合があります。電池を火の中に投入しないでください。電池を分解したり、再充電しないでください。地域の規定に従って廃棄してください。

メーターのお手入れ

メーターの外側は、以下のいずれかの方法で湿らせた布をかたくしぼって拭いてください:

- 刺激の弱い中性洗剤・刺激の弱い石けんと水
- 70 %アルコール

注意

- **メーターは10～40℃の乾燥した場所に保管してください。**
- **メーターを長時間にわたって直射日光や熱にさらさないでください。**
- **ちり、ほこり、血液、水をメーターのセンサー挿入部に近づけないでください。**
- **メーターを落とさないでください。**
- **いかなる方法でも、メーターを修理したり改造しないでください。**
- **メーターは携帯電話、電子レンジなどの強力な電磁波を発する機器から遠ざけてください。**

トラブルの対処

1) センサーを差し込んでもメーターが測定状態にならない。

考えられる原因	対処法
電池が切れている	電池を交換してください。
・電池が正しくセットされていない ・メーターに電池が入っていない	電池がプラス（＋）の面を上にして、正しく入っていることを確認してください。
・センサーの表と裏が逆向きにメーターに差し込まれている ・センサーがメーターに完全に差し込まれていない	センサーの印刷面を表にして挿入部をメーターに差し込みます。センサーが完全に差し込まれていることを確認します。
メーターまたはセンサーに問題がある	製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
センサー挿入部に血液または異物が入っている	製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

2) 血液を吸入させた後、測定が開始されない。

考えられる原因	対処法
血液量が少なすぎる	新しいセンサーで血液を多めに吸入させて再度測定を行ってください。
センサーに問題がある	新しいセンサーで再度測定を行ってください。
自動的に電源が切れた後（2分後）に検体を吸入させた	新しいセンサーで再度測定を行ってください。 画面に採血マーク（🩸）が表示されるまで待ってから血液を吸入させます。
メーターまたはセンサーに問題がある	製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

☎ 製品に関するお問い合わせ先は、裏表紙の電話番号をご覧ください。

トラブルの対処

表示メッセージ

表示	理由	処置
	温度のエラー メーター作動温度範囲（10-40℃）を外れていた。	メーターとセンサーを10-40℃の環境になじませてください。測定前にメーター内部が環境になじむまで10分間待ってください。
	血液が検出されない、または間違ったセンサーを挿入した。	新しいセンサーで必要血液量0.5μLが吸入できるように再度測定を行ってください。
	使用済みセンサーまたは長時間容器の外に放置したセンサーを挿入した。	新しいセンサーで再度測定を行ってください。血液がセンサーの端（上部でなく）に付くようにしてください。エラーが続くようであれば、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
	メーターに問題がある	製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
	センサーに問題がある	新しいセンサーで再度測定を行ってください。エラーが続くようであれば、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
	測定中にセンサーを取り出した。	新しいセンサーで再度測定を行ってください。センサーを取り出す前に結果が表示されていることを確認してください。

表示	理由	処置
	センサーまたはメーターに問題がある	新しいセンサーで再度測定を行ってください。エラーが続くようであれば、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
	測定結果がメモリーに記録されなかった。	新しいセンサーで再度測定を行ってください。エラーが続くようであれば、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。
	電池残量が少ない	電池が切れるまで約50回の測定が出来ます。電池を交換してください。
	電池切れ	メーターの電源が切れる前に電池の記号が表示されます。電池を交換してください。
	範囲外 -数値が高い > 600 mg/dL	⚠ 新しいセンサーで再度測定を行ってください。結果が依然として、"HI"（高）または"Lo"（低）であれば、すぐに医師へご相談ください。
	範囲外 -数値が低い < 20 mg/dL	

エラーメッセージ、他のエラーメッセージが繰り返し表示される、またはトラブルの対処でも問題が解決しない場合、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

システムの仕様

測定範囲	20-600 mg/dL
検体量	0.5 μL
試料	新鮮な毛細管全血
測定時間	4秒
測定法	酵素電極法（アンペロメトリー法）
電源	CR2032リチウム電池（3V ）1個
電池の寿命	約1,500回の測定、または2年
自動停止機能	2分後に自動的に電源が切れます
重量	約17 g（電池重量を含む）
サイズ	縦43mm x 横37mm 高さ23mm
メモリー容量	99件の測定結果

メーター作動範囲

相対湿度	10 - 90%RH (結露のない状態)
温度	10 - 40° C
ヘマトクリット	25 - 60%
高度	3,094 m

注記：指定された環境条件で使用してください。

化学成分

ニプロTRUEセンサー®	グルコース-デヒドロゲナーゼ-FAD
ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）	水分、d-グルコース

ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）の測定

ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）（別売）

コントロール測定の詳細については、コントロール液の取扱説明書をよくお読みください。コントロール液は、センサーとメーターが正常に作動しているかをチェックするためのものです。

動作チェックは血糖測定のたびに行う必要はありません。
以下の場合に行ってください。

- ニプロTRUEpico®を落としたり、ぶつけたりしたとき。
- 測定結果に疑問を感じたとき。たとえば、予想した血糖値よりもいちじるしく低すぎたり高すぎる数値が表示されたとき。

注意 **ラベルに印字されている使用期限、または開封後3ヶ月を過ぎたコントロール液は使用しないでください。**

- ニプロTRUEpico®にはニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）のみをご使用ください。
- 使用後は直ちにコントロール液の蓋を閉めてください。
- コントロール液に水やその他の液体を加えないでください。
- コントロール測定は、コントロール液が20-25℃である状態で測定された場合にのみ、正確な測定結果が得られます。
- コントロール測定の結果は、センサー容器のラベルに印字されている適正範囲内である必要があります。
- コントロール測定の結果がコントロール液適正範囲を外れる場合は、再度測定を行ってください。
- 再測定後にも、コントロール測定の結果が続けてセンサー容器に印字されているコントロール液適正範囲を外れる場合は、測定したニプロTRUEpico®を用いて血糖測定を行わないでください。

コントロール測定の結果が範囲を外れる原因には、以下のことが考えられます：

- 測定エラー
- コントロール液の使用期限切れ、または、コントロール液に問題がある。
- センサーに問題がある。
- メーターに問題がある。

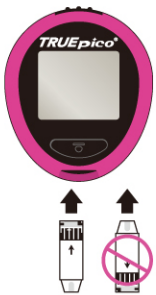
ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）の測定

動作チェックの実施

1. ニプロTRUEセンサー®の箱を開封し、容器を取り出します。
容器の蓋を取り外し、センサーを1枚取り出してください。

注意 センサーは湿気厳禁です。
蓋は必ずしっかりと閉めてください。

2. ニプロTRUEpico®に未使用のセンサーを挿入します。
これでメーターの電源が入ります。挿入方向を確認してからしっかりと挿入します。



表向きに入れる

システムチェック画面

メーターに電源が入るたびにこの画面が数秒間表示され、表示が正しく機能していることを確認することができます。

システムチェック画面

注意 システムチェック画面が前ページの画面表示と一致しない場合には、測定器を使用しないでください。

3. 画面に採血マーク（🩸）が表示されるまで待ちます。

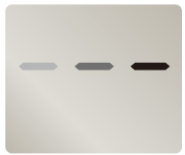
採血マーク

注意 血液吸入部に2分以内にコントロール液が吸入されなければ、E-2が表示され、約10秒後にメーターの電源は自動的に切れます。電源が切れたら、センサー挿入部からセンサーを取り出してください。センサーを再挿入してメーターを再起動してください。

4. 図のようにセンサーの血液吸入部にコントロール液をそっと触れさせます。

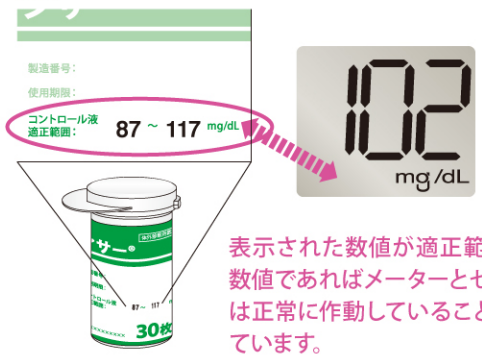
ニプロGluコントロール液（TRUEセンサー用）の測定

5. 十分なコントロール液が吸入されるとメーターの画面上に「－－－」が表示され、コントロール測定の結果が出ます。測定値はメーター内に自動的に保存されます。



6. 表示された数値が、ニプロTRUEセンサー®容器のラベルに印字されている「コントロール液適正範囲」内の数値であるかどうか確認してください。

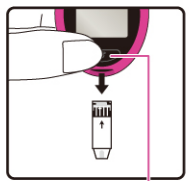
（例）



表示された数値が適正範囲内の数値であればメーターとセンサーは正常に作動していることを示しています。

※適正範囲外の数値が表示された場合は、ニプロGluコントロール液の説明書を参照し、再度測定してください。

7. メーターに挿入されている使用済みセンサーはセンサー排出ボタンを押して挿入部から取り出します。
または手でセンサーを引き抜いて、挿入部から取り出します。



保証

保証期間3年

ニプロTRUEpico®の保証期間は、ご購入から3年間です。保証期間内に故障した場合は無料で交換いたします。

以下に該当する場合は保証の対象外となります。

●取扱説明書に準じた適正な使用を行わなかった場合。
●保証期限が切れている場合。
●当社以外での修理・調整・改造が行われている場合。

MEMO